

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

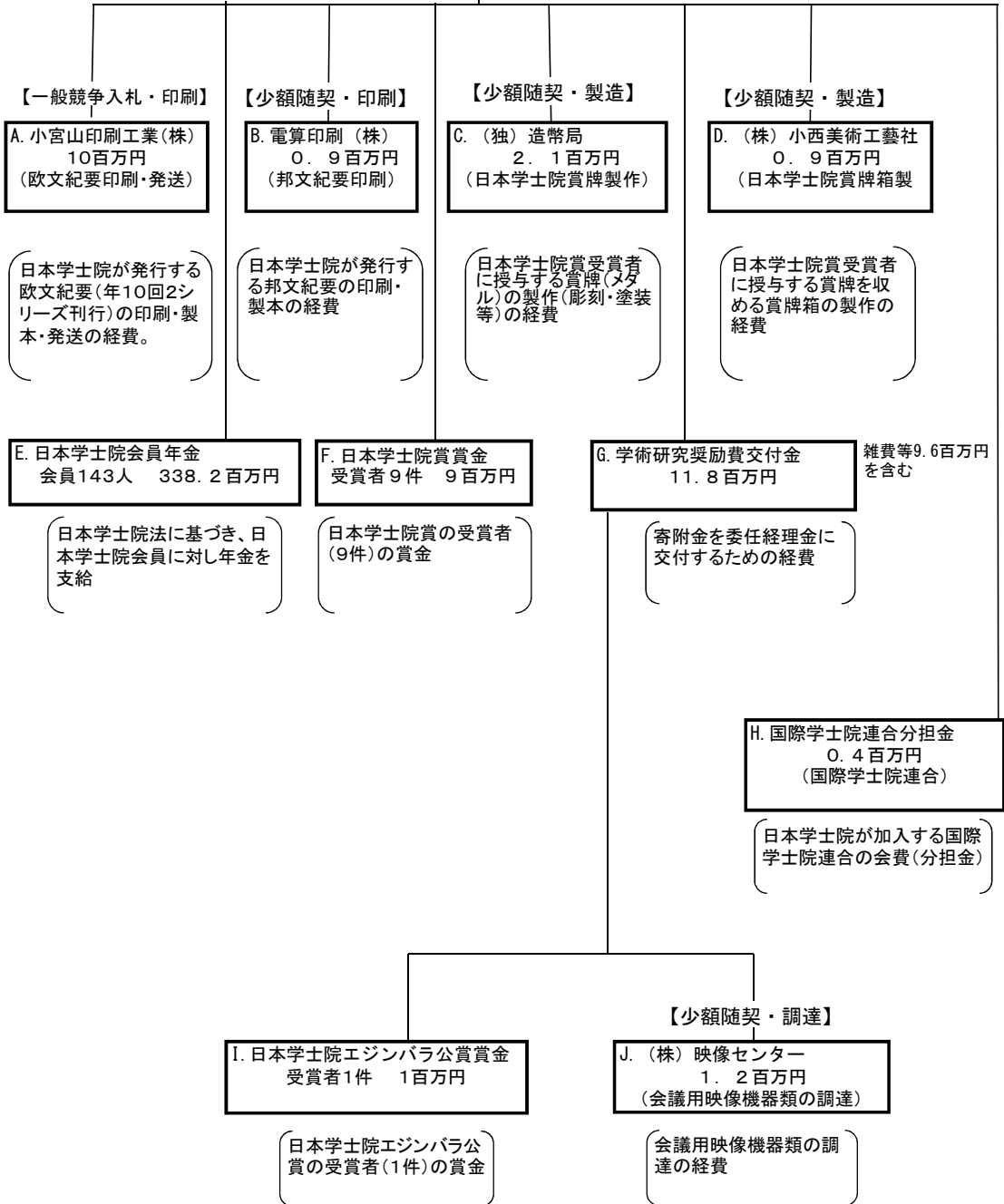
事業名	日本学士院会員年金の支給等に必要経費		担当部局	研究振興局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：昭和31年度～ 終了(予定)：—		担当課室	振興企画課	振興企画課長 生川浩史		
会計区分	一般会計		政策・施策名	基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備 区-1 学術研究の振興			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	日本学士院法第8条、第9条		関係する計画、 通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本学士院は、学術上功績顕著な科学者を優遇するための機関として、学術の発達に寄与するため必要な事業を行うことを目的とする(日本学士院法第1条)。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(日本学士院法第8条関係) ・学術上特にすぐれた論文、著書その他の研究業績に対して、恩賜賞及び日本学士院賞並びに日本学士院エジンバラ公賞を授賞する。 ・会員が提出し、又は紹介した学術上の論文を公表するための紀要の編集及び発行を行う。 ・学術の研究を奨励するため必要な事業で、日本学士院が行うことを適当とするものを行う。 (日本学士院法第9条関係) ・日本学士院会員に対して年金を支給する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 状況	当初予算	446.6	436	446.3	434.7	435.2
		補正予算	—	▲10.7	▲25.0	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	446.6	425.3	421.3	434.7	435.2
		執行額	394.6	401.5	404.6	—	—
	執行率(%)	88.4%	94.4%	96.0%	—	—	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、学術上功績顕著な科学者を優遇し、学術の発展に寄与することを目的としていることから成果実績を定量的に示すことは困難である。		成果実績	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	日本学士院賞		件	9 (9)	9 (9)	9 (9)	— (9)
	恩賜賞			2 (2)	2 (2)	2 (2)	— (2)
	日本学士院エジンバラ公賞(隔年)			1 (1)	—	1 (1)	—
	日本学士院会員数		人	143 (150)	143 (150)	143 (150)	— (150)
	例会、分科会、委員会等開催回数		回	135	149	164	(150)
	日本学士院紀要掲載論文数(邦文、欧文)		本	77	102	81	(100)
算出根拠		本事業は学術上功績顕著な科学者を優遇し、学術の発展に寄与することを目的としていることから成果実績を定量的に示すことは困難であり、1単位当たりのコストを記載することはなじまない。					
単位当たりコスト	—						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0.3百万円	0.3百万円				
	日本学士院会員等旅費	23.2百万円	22.8百万円	旅行期間、員数見直し等による削減			
	日本学士院会員年金	375.7百万円	375.7百万円				
	庁費	17.1百万円	17.1百万円				
	招へい外国人滞在費	1.7百万円	1.6百万円	旅行期間見直し等による削減			
	外国人招へい旅費	3.3百万円	3.3百万円				
	諸謝金	0.2百万円	0.2百万円				
	日本学士院賞賞金	9.0百万円	9.0百万円				
	褒賞品費	3.1百万円	3.1百万円				
	学術研究奨励費交付金	0.8百万円	1.8百万円	日本学士院エジンバラ公賞賞金の寄附受入に伴う増			
国際学士院連合分担金	0.4百万円	0.4百万円					
計	434.7百万円	435.2百万円					

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない場合がある。

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・学術上功績顕著な科学者を優遇するための機関として、学術の発展に寄与するため必要な事業を行っており、国が行うべき、優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・一般競争入札を実施する等、十分な公告期間をとった上で広く周知することにより、一者応札がなくなるなど効率的に執行されている。 ・事業運営に当たっては、会員や有識者等で構成される会議を開き、授賞・支援対象や効率的な執行について検討を重ね、真に必要なものに限定するよう努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・学術上功績顕著な科学者を会員(約150名)として、学術の発展に寄与する事業を実施しており、明治44年より毎年、恩賜賞・日本学士院賞等の各種授賞を行うなど着実な活動実績をあげている。 ・日本学士院会館では、皇族御臨席の各種授賞式や、一般向けの公開講演会が行われる等、施設は十分に活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・日本学士院法に基づいた事業の実施に当たっては、会員からなる委員会を構成し、審議を経て、効率的かつ効果的に事業が実施されており、これに係る経費は適切に支出されている。引き続き事業の効率的・効果的な実施を目指し、コスト削減を図るよう努める。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、学術上特に優れた研究業績に対する日本学士院賞等の授賞や日本学士院会員に対する年金の支給等を行うものであり、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、昭和31年以降長期に継続している事業であり、制度の裏付けがあり、その必要性が認められる。よって、日本学士院会員年金については、現行において見直しの余地はないことから、現状を維持すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
日本学士院ホームページ: http://www.japan-acad.go.jp/						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0448	平成23年	0268	平成24年	0284

文部科学省
(日本学士院)
404.6百万円

職員旅費	0.2百万円
日本学士院会員等旅費	22.3百万円
日本学士院会員年金	338.2百万円
庁費	17.1百万円
招へい外国人滞在費	1.3百万円
外国人招へい旅費	1.1百万円
諸謝金	0.1百万円
日本学士院賞賞金	9.0百万円
褒賞品費	3.1百万円
学術研究奨励費交付金	11.8百万円
国際学士院連合分担金 を含む	0.4百万円



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.小宮山印刷工業(株)			E.個人A		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	欧文紀要の印刷・発送	10.0	日本学士院会 員年金	功績顕著な科学者である日本学士院会 員(院長)に支給する年金	2.8
計		10.0	計		2.8
B.電算印刷(株)			F.個人A		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	邦文紀要の印刷	0.9	日本学士院賞 賞金	日本学士院賞受賞者に授与する賞金	1.0
計		0.9	計		1.0
C.(独)造幣局			G.日本学士院長		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
褒賞品費	日本学士院賞牌製作	2.1	学術研究奨励 費交付金	寄附金を委任経理金に交付するための 経費	11.8
計		2.1	計		11.8
D.(株)小西美術工藝社			H.国際学士院連合		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
褒賞品費	日本学士院賞賞牌箱製作	0.9	国際学士院連 合分担金	国際学士院連合に支払う分担金	0.4
計		0.9	計		0.4

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

I.個人A					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
学研究奨励 費交付金	日本学士院エジンバラ公賞受賞者に授 与する賞金	1.0			
計		1.0	計		0.0
J.(株)映像センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
学研究奨励 費交付金	会議用映像機器類(プロジェクター等) 調達	1.2			
計		1.2	計		0.0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	小宮山印刷工業(株)	欧文紀要の印刷・発送	10.0	2	85.69

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	電算印刷(株)	邦文紀要の印刷	0.9	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)造幣局	日本学士院賞受賞者に授与する賞牌(メダル)の製作(彫刻・塗装等)の経費	2.1	随意契約	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)小西美術工藝社	日本学士院賞受賞者に授与する賞牌を収める賞牌箱の製作の経費	0.9	随意契約	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	功績顕著な科学者である日本学士院会員(院長)に支給する年金	2.8	-	-
2	個人B	功績顕著な科学者である日本学士院会員(幹事)に支給する年金	2.7	-	-
3	個人C	功績顕著な科学者である日本学士院会員(部長)に支給する年金	2.6	-	-
4	個人D	功績顕著な科学者である日本学士院会員(部長)に支給する年金	2.6	-	-
5	個人E	功績顕著な科学者である日本学士院会員に支給する年金	2.5	-	-
5	個人F	功績顕著な科学者である日本学士院会員に支給する年金	2.5	-	-
5	個人G	功績顕著な科学者である日本学士院会員に支給する年金	2.5	-	-
5	個人H	功績顕著な科学者である日本学士院会員に支給する年金	2.5	-	-
5	個人I	功績顕著な科学者である日本学士院会員に支給する年金	2.5	-	-
5	個人J	功績顕著な科学者である日本学士院会員に支給する年金	2.5	-	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	日本学士院賞の受賞者の賞金	1.0	-	-
1	個人B	日本学士院賞の受賞者の賞金	1.0	-	-
1	個人C	日本学士院賞の受賞者の賞金	1.0	-	-
1	個人D	日本学士院賞の受賞者の賞金	1.0	-	-
1	個人E	日本学士院賞の受賞者の賞金	1.0	-	-
1	個人F	日本学士院賞の受賞者の賞金	1.0	-	-
1	個人G	日本学士院賞の受賞者の賞金	1.0	-	-
1	個人H	日本学士院賞の受賞者の賞金	1.0	-	-
1	個人I	日本学士院賞の受賞者の賞金	1.0	-	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本学士院長	寄附金を委任経理金に交付するための経費	11.8	-	-

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際学士院連合	日本学士院が加入する国際学士院連合の会費(分担金)	0.4	-	-

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	日本学士院エジンバラ公賞受賞者に授与する賞金	1.0	-	-

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)映像センター	会議用映像機器類の調達の経費	1.2	随意契約	-